

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 10 月 7 日現在

機関番号：24301

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24320042

研究課題名(和文)人形浄瑠璃文楽の音楽学的復元上演に関する基礎的研究

研究課題名(英文)Basic research on the musicological restoration and staging of bunraku puppet theater plays

研究代表者

山田 智恵子(YAMADA, chieko)

京都市立芸術大学・公私立大学の部局等・教授

研究者番号：10388316

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,600,000円

研究成果の概要(和文)：我が国が世界に誇る伝統演劇「人形浄瑠璃文楽」の喫緊の課題は「上演演目の多様化」で、解決するためには、今日伝承を失った・または失いつつある演目を、現行レパートリーに組み入れていく必要がある、と考えた。

本研究課題はその基礎として、上演の途絶えてしまった作品・場面を復元上演するに際しての、(1)技術的・方法的な理論研究と、(2)日本国内に散在する古楽譜をデジタル画像化して集積し、望ましい上演本文・楽譜を作成することの、実験的復元研究を試行したものである。

研究成果の概要(英文)：An urgent task facing the Japanese bunraku puppet theater is to expand and diversify the repertoire. In order to address this issue, it was considered that plays that are no longer transmitted, and plays that are in danger of being lost, should be incorporated into the current repertoire. The aim of this project was to establish a theoretically informed basis for staging plays or scenes no longer performed by (1) conducting research into technical and methodological aspects of restoration, and (2) collecting and digitizing old text-scores scattered throughout the country, then synthesizing this data in order to create an appropriate performance text-score.

研究分野：音楽学

キーワード：人形浄瑠璃文楽 古楽譜 復元研究 日本伝統音楽 義太夫節 日本近世演劇 浄瑠璃本 デジタル撮影

### 1. 研究開始当初の背景

「人形浄瑠璃文楽」の喫緊の課題は「上演演目の多様化」で、解決するためにはこんにち伝承を失った・または失いつつある演目を、現行レパートリーに組み入れていく必要があると考えるが、近年は新作の創作が熱心に進んでいる。また従来行われた復元上演の場合(多く演劇作品がそうであるように)、演奏・舞台を結果として示すだけで、典拠となる資料の所在や、復元に至る過程は示されることがなかった。

近年の研究成果として、従来活用されてこなかった資料群(浄瑠璃本の内、通し本・丸本に記録された楽譜・三味線譜の存在)の所在報告がまとめられた。これら新出資料群を活用して、復元上演が可能なのではないかと着想した。

### 2. 研究の目的

本研究課題はその基礎として、上演の途絶えてしまった作品・場面を復元上演するに際しての、(1)技術的・方法的な理論研究と、(2)日本国内に散在する古楽譜をデジタル画像化して集積し、望ましい上演本文・楽譜を作成することの、実験的復元研究を試行するものである。

外部からは窺い知れない、いわばブラックボックスの中にあった復元上演を、研究者や劇評家・観客など、のちに第三者が再検討可能な形で展開することは、当該演劇の音楽学的・演劇学的理解を深化させることにも寄与するものと考えたためである。

### 3. 研究の方法

研究の方法としては、具体的には次の4事業を柱として、研究会を開催した。

「**現行レパートリーの伝承の洗い直し**」では、国立劇場・国立文楽劇場で行われる、人形浄瑠璃文楽の本公演の内、「通し狂言」と謳うところの演目を主対象として、上演史・国立劇場の復活作業を検討した。国立劇場における「通し狂言」の復活事業は初期15年で途絶していることを残念に思い、また「通し狂言」の充実こそ人形浄瑠璃文楽にとって重要な課題と捉えるので、本研究課題で復曲する作品は、「通し狂言」の一部(一幕物・付け物ではなく)を選ぶこととした。

「**復元すべき作品・場面の選定と、台本・音楽・演出プランの検討**」では、人形浄瑠璃文楽が「通し狂言」と謳って上演する作品の段編成を確認して、「大序 だいじょ」(作品の最初の段)もしくは「序切 じょうぎり・じょきり」(初段の末尾の重要な段)を、いまだに復活していない作品について復活の可能性を検討した。複数の資料が得られること、および神津武男氏の論文「浄瑠璃本のベストセラー」に曰く、『仮名手本忠臣蔵』『菅原伝授手習鑑』に続く、第3位の残存数を誇る『ひらかな盛衰記』の序切「巴粟津合戦」を素材として、復活作業を進めることとした。

「**復元作業に必須の古楽譜のデジタル画像の収集**」では、「配役書入本」の所在調査および画像の収集に努めた。特に次の所蔵機関の資料215冊について、本研究課題の討議資料として活用するところであった。記して感謝申し上げます。

#### 【個人】

原道生氏  
鶴澤三寿々氏(太田暁子氏)  
神津武男氏

#### 【公共機関】

愛媛大学図書館  
大阪音楽大学音楽博物館  
大阪市立中央図書館  
大阪府立中之島図書館  
尾道市立中央図書館  
香川県立ミュージアム  
関西大学図書館  
京都府立総合資料館  
国立劇場  
国立文楽劇場  
札幌大学図書館  
島根大学法文学部  
瀬戸内海歴史民俗資料館  
大東急記念文庫  
太宰府市市史資料室  
帝京大学メディアライブラリーセンター  
天理大学附属天理図書館  
東京都立中央図書館  
名古屋市蓬左文庫  
人形浄瑠璃因協会  
兵庫県立歴史博物館  
文楽協会  
南あわじ市淡路人形浄瑠璃資料館

栗東歴史民俗博物館  
早稲田大学演劇博物館  
なお上記機関の所蔵する個々の資料名については、研究協力者神津武男氏の報告「古楽譜(朱入り本)のデジタル画像化についての報告」(2016年3月2日復曲試演会会場配付冊子掲載)に付載の、「浄瑠璃本(通し本)の配役書入本画像データの年月順総索引」で確認することができる。あわせて参照された。

「**復元作業に有用な資料調査の充実**」では、浄瑠璃本の内、抜き本の所在調査および書誌研究を進めた。

### 4. 研究成果

本研究課題では、実演者として豊竹呂勢太夫師・鶴澤藤蔵師に参加願って、所期の目標を達成することができた。記して感謝申し上げます。

研究者の側において、選曲・資料の選定・上演本文の校訂を予備的に進めて、実際の音楽的な復曲作業を呂勢太夫師・藤蔵師に依頼した。

2016年3月2日(水)、京都芸術センター講堂において、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター開設15周年記念事業のひとつと

して、日本伝統音楽研究センター第 44 回公開講座「義太夫節 通し狂言の復曲」を開催して、本研究課題の研究報告を行うとともに、『ひらかな盛衰記』序切「粟津合戦段」(豊竹呂勢大夫・鶴澤藤蔵)復曲初演を行った。大正 3 年(1914)10 月・大阪御霊文楽座興行で上演されたのを最後として、長く上演・演奏が絶えていて、2016 年まで実に 102 年ぶりとなる復曲となった。

復曲試演会の模様および本研究課題の活動について次の新聞記事に取り上げられたことを付言する。

(1)『京都新聞』2016 年 3 月 31 日朝刊「やりにくさは創意の証し 文楽「ひらかな盛衰記」序切復曲」

<http://www.kyoto-np.co.jp/top/article/20160410000110>

(2)『日本経済新聞』2016 年 4 月 20 日夕刊「文楽の演目、102 年ぶり復活 資料発掘、江戸期の形再現 演者と大学、異例のタッグ(ひと最前線)」

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASIH14H04\\_V10C16A4AA2P00/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASIH14H04_V10C16A4AA2P00/)

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 13 件)

山田智恵子：聴く力を育てる-義太夫節を中心として『季刊上方芸能』185 号：40-43. 2012

後藤静夫：文楽・義太夫節の伝承・稽古をさぐる その 2 竹本源大夫『日本伝統音楽研究』9 号：75-93. 2012 (査読有)

後藤静夫：文楽・義太夫節の伝承・稽古を探る その 3 豊竹十九大夫『日本伝統音楽研究』10 号：37-49. 2013 (査読有)

山田智恵子：青山館の音楽的特徴：『DVD 義太夫節稀曲の復活』付属解説書：12-13. 2013

山田智恵子：豊竹嶋大夫・竹澤團七、聞き手 山田智恵子「青山館の音楽的特徴と伝承および復活の方法」『DVD 義太夫節稀曲の復活』付属テキスト：1-4. 2013

後藤静夫：文楽・義太夫節の伝承と復曲『DVD 義太夫節稀曲の復曲』付属解説書：1-4. 2013

山田智恵子：研究の概要『日本伝統音楽研究センター研究報告』9 巻：7-17. 2015

山田智恵子：義太夫節『日本伝統音楽研究センター研究報告』9 巻：139-157. 2015

山田智恵子：三味線音楽研究の視座-義太夫節を事例として-『日本伝統音楽研究センタ

-研究報告』9 巻：249-264. 2015

山田智恵子：義太夫節を聴く力を育てたい『京都市立芸術大学京芸通信』19 号：11. 2016

山田智恵子：《九段目山科隠家の段》の音楽構成および表『義太夫節の精華竹本駒之助九段目を語る』第 43 回公開講座冊子：12-14. 2015

山田智恵子：復曲の方法と手順-《粟津合戦》を例として、《粟津合戦》音楽構成表『義太夫節通し狂言の復曲』第 44 回公開講座冊子：10-14. 2016

竹内有一：邦楽・邦舞にみる復活・復曲『義太夫節通し狂言の復曲』第 44 回公開講座冊子：6-9. 2016 (2011『楽劇学』より転載)

[学会発表](計 18 件)

山田智恵子：町田佳聲の義太夫節研究を読み解く：東洋音楽学会第 63 回大会、2012 年 11 月、国立音楽大学。

山田智恵子：義太夫節の音楽としてのしくみを理解する「菅原伝授手習鑑」：でんおん連続講座 2012 年 4 月～7 月。京都市立芸術大学

竹内有一：歌舞伎音楽入門-江戸と上方：でんおん連続講座 2013 年 1 月、京都市立芸術大学

竹内有一：岡本文弥の新内節を聴く：伝音セミナー、2012 年 11 月 1 日、京都市立芸術大学

後藤静夫：義太夫三味線の表現：伝音セミナー、2013 年 1 月 10 日、京都市立芸術大学

山田智恵子：義太夫節の音楽としてのしくみを理解する：「でんおん連続講座」2013 年 5 月～2013 年 7 月。京都市立芸術大学

後藤静夫：丸本で読む義太夫節：「でんおん連続講座」2013 年 5 月～7 月、京都市立芸術大学。

山田智恵子：義太夫節の「節尽し」を聴く：伝音セミナー-2013 年 10 月 3 日、京都市立芸術大学。

後藤静夫：義太夫節の節尽しを聴く：伝音セミナー-2013 年 11 月 7 日、京都市立芸術大学。

竹内有一：岡本文弥の新内節を聴く その 2：伝音セミナー-2014 年 3 月 6 日、京都市立芸術大学。

山田智恵子：音楽としての義太夫節「伽羅先代萩 御殿の段」：でんおん連続講座 2014 年 5 月～6 月、京都市立芸術大学。

竹内有一：歌舞伎音楽入門 2-豊後系浄瑠璃を軸に：でんおん連続講座 2014 年 4 月～7 月。京都市立芸術大学。

山田智恵子：古曲保存会義太夫節レコードとその後：伝音セミナー 2014 年 9 月 4 日、京都市立芸術大学。

竹内有一：一中節「夕霞浅間嶽」を聴く：伝音セミナー 2014 年 6 月 5 日、京都市立芸術大学。

山田智恵子：音楽としての義太夫節「ひらかな盛衰記」：でんおん連続講座 2015 年 5 月～7 月、京都市立芸術大学。

竹内有一：性と役を語り分ける-常磐津節「うつば猿」実践入門：でんおん連続講座 2015 年 6 月～7 月。京都市立芸術大学。

山田智恵子：企画・構成・司会「義太夫節の精華竹本駒之助九段目を語る」日本伝統音楽研究センター第 43 回公開講座。2015 年 11 月 28 日、ウイングス京都イベントホール。

山田智恵子：企画・構成：司会「義太夫節通し狂言の復曲」日本伝統音楽研究センター第 44 回公開講座、2016 年 3 月 2 日、京都芸術センター講堂。

〔図書〕(計 7 件)

山田智恵子編 『DVD 義太夫節稀曲の復曲』(解説書/対談テキスト付き) 2013 年、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター編集・発行。(総頁数 32)

竹内有一編 『常磐津節演奏者名鑑第 3 巻近代：幕末期から明治期まで』2013 年、常磐津節保存会、(総頁数 153)

山田智恵子・大久保真利子編 『三味線音楽の旋律型研究-町田佳聲をめぐって』(日本伝統音楽研究センター研究報告第 9 巻)2015 年京都市立日本伝統音楽研究センター発行、総頁数 423。

竹内有一編 『常磐津節演奏者名鑑第 4 巻近代 2：女流演奏者』2015 年、常磐津節保存会、総頁数 134。

山田智恵子編 『義太夫節の精華 竹本駒之助九段目を語る』(第 43 回公開講座冊子) 2015 年、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター発行、総頁数 39。

山田智恵子・神津武男編 『義太夫節 通し狂

言の復曲』(第 44 回公開講座冊子) 2016 年、日本伝統音楽研究センター発行、総頁数 75。

竹内有一編 『常磐津節演奏者名鑑第 5 巻近代 3：明治期から昭和期まで(上)』2016 年、常磐津節保存会発行、総頁数 125。

〔産業財産権〕  
出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等  
<http://w3.kcua.ac.jp/jtm/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

山田智恵子 (YAMADA, Chieko)  
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター・教授  
研究者番号：10388316

### (2) 研究分担者

竹内有一 (TAKEUCHI, Yuichi)  
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター・准教授  
研究者番号：60381927

後藤静夫 (GOTO, Shizuo)  
京都市立芸術大学・名誉教授  
研究者番号：50381926